



南の丘学園高南小学校だより

こうなん

花咲く高南っ子
令和5年度 第5号
R5・8・30

<南の丘学園幼小中一貫教育目標> 「夢に向かい 自分らしさを生かして ともに輝く子」の育成

<学校経営目標> 笑顔の花咲く高南小

人生は敗者復活戦

～2学期はいっぱい失敗しよう～ (始業式 式辞より)

校長 川口 宏二



長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。今朝、私が校門のところに立っていると、みなさんの元気な挨拶の声と、きらきらと輝くような笑顔を見ることができ、私はとてもうれしい気持ちになりました。そしてなにより、夏休み中に大きな事故に遭ったり、大きな病気にかかったりしたという連絡がなかったことが本当にうれしく思いました。

さて、みなさんの夏休みはどうでしたか。きっと楽しい夏休みを過ごしたことと思います。私は、夏休みはどこにも行かなかったのですが、趣味であるスポーツ観戦をたくさんすることができました。プロ野球、高校野球、Jリーグサッカー、世界水泳、世界陸上、バスケットボールワールドカップ等。今年の夏休みには、本当にいろいろなスポーツをやっていました。その中でも、私が一番印象に残ったことを少しお話したいと思います。

それは、甲子園の高校野球のお話です。テレビで見た人もたくさんいたのではないのでしょうか。「エンジョイ ベースボール」の神奈川県慶応高校が優勝しましたが、私がすばらしいと思ったのは、決勝戦で負けた宮城県仙台育英高校の試合終了後の監督や選手たちが言った言葉や態度です。仙台育英高校の監督の「座右の銘」(大切にしている言葉)は、「人生は敗者復活戦」だそうです。人間は負けた時、上手くいかなかった時こそ多くのことを学べる。悔しさをばねにして次に向かって頑張ることが大きな力となる。負けた時の態度、振る舞いがとても大切であると言っていました。確かに仙台育英高校の選手たちは、負けた悔しさを胸に秘めながら、優勝した慶応高校の選手たちに、大きな拍手をずっと送っていました。本当に立派でした。



みなさんも、いろいろな場面で、上手くいかなかったり、失敗したりすることがあると思います。私も、先生方だって上手くいかないことだらけです。人間なんだから失敗してもいいんです。上手くいなくてもいいんです。負けてもいいんです。大切なことは、**どうして上手くいかなかったのか、次にどうすればいいのか**を自分なりに考えて次の行動に移すことです。2学期は、みんなでいっぱい失敗しましょう。失敗を恐れずチャレンジしましょう。そして次の成功に向けて**みんなで協力**していきましょう。一人一人が失敗してもいいんだという気持ちをもつことと、クラス全体に失敗しても大丈夫、間違えても大丈夫という雰囲気をつくって、みんなで話し合いながらいろいろなことを作り上げていきましょう。2学期は運動会をはじめ、大きな行事がたくさんありますね。失敗を恐れず自分の思いを伝えながら行事をみんなで成功させましょう。きっと充実した2学期になるとと思います。みなさん一人一人が活躍する姿を楽しみにしています。

最後になりますが、1学期の終業式の時に、地域の行事に積極的に参加しましょうという話をしました。地域の行事に積極的に参加したり挨拶したりすることで、地域の方に日頃の感謝の気持ちを表すことになるという話をしました。「こんな行事に参加したよ」という人がいたら、またお話を聞かせてくれるとうれしいです。

